推 薦 図 書

学　科：　健康生活学部　子ども学科	氏　名：　田渕 久美子
書　名：　子どもによる子どものための「子どもの権利条約」	
著者・訳者：　小口尚子，福岡鮎著	
出　版　：　小学館　1995	

〈推　薦　文〉

装丁は日比野克彦さん。美しい写真もたくさんあり、まずは手にとって楽しい本です。巻末の座談会「『子どもの権利条約』とぼくらの日常（谷川俊太郎、小口尚子、福岡鮎美）」も見逃せません。小口さん・福岡さんは、この「子どもの権利条約」を翻訳したとき１４歳でした！「すばらしい」や「素敵」が詰まった本だと思います。

子どもの最善の利益（best interest）のために、大人ができることを考えることは大切で、子ども自身がその権利を知ることはもっと大切なことだと思います。「子どもの権利条約」は、日本では誤解されている。この条約に書かれていることは、貧困や飢餓に苦しむ発展途上国の子どもたちのためのものであって、日本の子どもたちには関係ないと。しかし、それは間違いです。「子どもの権利条約」に照らして子どもの権利が守られているかを確かめるための、国連・子どもの権利委員会は、日本の子どもの状況に対して、改善すべきことがたくさんあることを指摘しています。そのことは、私が担当する「教育原理」という講義で話すことにしていますが、あなたもこの本を手に取り、日本の子どもたちが本当に幸せなのかを考えてみてください。